



永福学園通信

令和8年3月16日

第11号

東京都立永福学園
統括校長 三浦 昭広

自己肯定感と自己有用感

校長 三浦 昭広

早いもので年度末を迎えます。今週水曜日は高等部就業技術科、木曜日は肢体不自由教育部門高等部の卒業式を挙行いたします。高等部卒業生の皆さん、保護者の皆さま、御卒業おめでとうございます。これから、新しい環境での生活が始まります。これまで本校で学んできたことや経験したことを生かして、自信をもって自分らしく輝いてほしいと思います。

小・中学部の卒業式は、来週実施いたします。小・中学部卒業生の皆さんには、それぞれ中学部、高等部でこれからも元気に学校生活を送ってほしいです。在校生の皆さんには、進級してからも楽しく学び、様々なことに挑戦してほしいと思っています。

さて、自己肯定感と自己有用感に関する本校の取組について述べたいと思います。それぞれの意味は、皆さまご存じのとおり、自己肯定感は、ありのままの自分を受け入れ、自分の価値や存在意義を肯定する感覚（気持ち）です。自己有用感は、自分が他者や集団、社会にとって役に立っている、必要とされていると感じる感覚（気持ち）です。私は、児童・生徒が自分らしく健やかに成長していく過程で、このふたつの気持ちを高めることが大切であると考えています。

本校の学校経営計画には、「社会貢献活動の実施」、「児童・生徒一人一人に応じた係活動、役割分担等の位置付け（一人一役）」を示しています。児童・生徒一人一人に即した活動を通し、「よくできました」「頑張りました」「ありがとう」などの言葉掛けなどを行っています。このような取組を通し、児童・生徒の自己肯定感や自己有用感を高めることで自信をもち、自分らしく健やかに成長できるような指導を図っています。

卒業生の皆さんには、これまで培った二つの気持ちを大切に、自信をもってこれからの生活を過ごしてほしいと思います。応援しています。

また、このことは、本校の教育目標にある「健康で豊かな人間性や個性・社会性を育む」、「生涯にわたって心豊かに生きていく」につながるものと考えています。次年度も、この二つの気持ちを高め、児童・生徒が自分らしく成長できるような教育活動を推進していきます。

一年間、保護者の皆さまには、本校の教育活動に御理解と御協力をいただきまして、誠にありがとうございました。来年度も、どうぞよろしく願いいたします。



卒業生より「永福学園での思い出」



《高等部就業技術科》

三年間で一番印象に残っていることは、たくさん友達ができたことです。高一の時、同じクラスの人が声を掛けてくれて、友達になることができました。その日は、うれしくて、家に帰って泣きました。二年になり、一緒にバスケやゲームをして遊ぶことがどんどん増えていきました。仲が深まっていく中で、本心で話せるようになり、中学の時とは違う自分になりました。友達との関わりの中で、人前で話せたり、お互いに相談し合ったりと、自分の思いを相手に伝えることに自信がもてるようになりました。この縁を大切に、卒業しても助け合える関係でいたいと思います。

永福学園に来てよかったと思うことは、大好きだと言える友達に出会えたことです。私は三年間の間に様々な友達と出会い、相手の魅力を知り、困ったときには協力し、さらに友達の良さに気付くことができました。また友達のおかげで自分の良さも知ることができました。友達と過ごす時間は、私にとって青春という名の宝物です。友達とたくさん話し、たくさん遊び、素敵な思い出を作ることができました。みんなにたくさんお世話になったので、卒業して離れても今までと変わらず仲良くしたいです。いつかみんなで焼き肉を食べに行こう！三年間ありがとうございました。

《肢体不自由教育部門》

<小学部 6年生>

一日一日を大切に、いろんな人と関わりながら毎日楽しく過ごしました。特に、世田谷美術館への修学旅行では、12名全員が参加し、最高の思い出を作ることができました。中学部でも頑張ります！



<中学部 3年生>

学習発表会では、総合的な学習の時間で学んだ「ブラジル」の文化について、スイッチやウォーカーなど、それぞれの得意なことを生かして発表しました。最後に中学部のみんなで作成した「ボサノバ」を合奏し、心が一つになりました。



<高等部 3年生>

卒業に向けて、この1年間個々に目標をもって実習に取り組んできました。学年で食べる給食の時間にみんなが揃うことがなかなかなく、全員が登校したときの給食の時間が賑やかで楽しい時間でした。「給食とってもおいしかったです！ありがとうございました。」



東京都立永福学園

副校長 安田 泉 松本 忍 篠塚 奈緒子
主幹教諭 三浦 千尋 吉岡 美佳

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号
電話 03-3323-1380